

報道関係各位

**【ANA クラウンプラザホテル】 ビジネスパーソンのライフスタイルに関する 1,000 名調査レポート
第3回 調査テーマ：夏の旅行先での過ごし方、本音と建前ギャップ調査**

円満旅行の秘訣は別行動？旅先で別行動を好む傾向

- 10人中7人が旅行中は同行者と別々の過ごし方をしても良いと回答
 - 「旅先では別行動」の支持が高いのは女性

ビジネスパーソンにとって、家族や恋人、友人など、親しい人とゆっくり過ごすには、夏休みの旅行は絶好の機会ではないでしょうか。しかし、ANA クラウンプラザホテルが行った調査では、カップルやグループ（家族含む）で終始一緒に行動するよりも、むしろ旅先では別行動を好む傾向が明らかになりました。

ANA クラウンプラザホテルは、このたび、20代～40代のビジネスパーソン（男女）、1,221名を対象に、最近の夏の旅行での過ごし方についてのアンケート調査を実施しました。調査の結果、10人中7人は、「旅行先で同行者と別行動を取り、それぞれ違う楽しみ方をしてもよい」と考えていることが明らかになりました。

また、世代別に見ると、どの年齢層も別行動支持派は、男性よりも女性に多く、特に40代の場合、男性は約半数の人が同行者と一緒に過ごしたいと考えているのに対し、女性は別々に過ごしてもよいと考えている人が75%以上に上ることがわかりました。

【旅行先で旅行相手と別行動で異なる楽しみ方(過ごし方)をしてもよいか】



その理由は一体何でしょうか？日ごろ忙しいだけに、夏休みくらい1人でのんびり過ごしたいとか、自分がリフレッシュできることに没頭したいと考える人が多く、たとえ旅行の行き帰りは一緒でも、旅先では各自の目的によって別行動を取ることもいとわないようです。晩婚化が進んだり、別々の寝室を持つ夫婦が増えたりする中、個人のペースや好みを優先して過ごすライフスタイルが広がっていることも背景として考えられます。最初から最後まで一緒に過ごすのが当たり前と気張らず、旅先では別々に過ごすのも、カップルやグループで円満に旅行を楽しむ秘訣かもしれません。

そもそもグループやカップルで旅行計画を練るときに、旅行内容について同行者とうまく折り合うことができるのでしょうか？旅行の行き先の決定権について質問したところ、自分が決めたと答えた人は 57.9%で、決定権については、ほぼ同等。既婚者と未婚者の回答を比較すると、自分で決めた割合は、既婚者が 50.9%に対し未婚者が 65.1%と、未婚者は自分の意見を通す割合がやや多いことが分かりました。カップルやグループでは、旅行計画もある程度妥協が必要ですが、実際に希望通りだったかどうかをたずねたところ、行き先については約 13%、旅行先での過ごし方については約 17%、旅行時期については約 17%が自分の希望と一致していなかったと回答。カップルやグループの旅行では、平均約 10%の人が希望通りの旅行ではなかったこととなります。特に 40 代の女性は自分の希望と一致していなかったという回答が多く、旅行先や時期に関しては 20%以上の方が希望に一致していませんでした。

この調査は、ANA クラウンプラザホテルにおいて、客室の環境やサービス内容等に、一般消費者の動向をタイムリーに反映するために実施しました。ANA クラウンプラザホテルは、今後も消費者の日常生活におけるリアルなニーズについて研究し、ホテルでのサービスの改善や開発に努めます。

以上

添付資料：調査レポート(旅行先での過ごし方、本音と建前ギャップ調査)

調査実施概要：

1. 調査対象、調査方法：Yahoo！リサーチ登録モニター、非公開型インターネット調査
2. 調査期間：平成 20 年 7 月 4 日(金)～平成 20 年 7 月 8 日(火)
3. 有効回答者数と回答者の属性：1,221 名、ビジネスパーソン
【年齢】20-29 歳 31.8%、30-39 歳 31.7%、40-49 歳 36.5%、【性別】男性 47.9%、女性 52.1%

ANA クラウンプラザホテルについて

ANA クラウンプラザホテルは、IHG・ANA・ホテルズグループジャパンが運営する、ANA ホテルとクラウンプラザの共同ブランドホテルです。現在、日本全国 6 都市(ANA クラウンプラザホテル千歳、ANA クラウンプラザホテル富山、ANA クラウンプラザホテル金沢、ANA クラウンプラザホテル広島、沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ、ANA クラウンプラザホテル成田)、合計約 2,000 室が、新たにクラウンプラザのグローバルネットワークに加わりました。2008 年には、大阪全日空ホテル、博多全日空ホテル、ホテル新潟が、それぞれ ANA クラウンプラザホテル大阪、ANA クラウンプラザホテル福岡、ANA クラウンプラザホテル新潟として共同ブランド化され、さらに日本各地にネットワークが広がる予定です。

クラウンプラザは、会議と宿泊を合わせた、ビジネスとレジャー両方の利用目的に適したハイレベルの快適さ、施設とサービスを兼ね備えた、IHG が運営する高級ホテルブランドの 1 つです。現在世界 50 カ国以上で 299 ホテルが運営され、さらに 118 件の開業準備が進められている、急速に成長しているホテルブランドです。

ANA クラウンプラザホテルは、日本での導入にあたり、日本の消費者のビジネスとレジャーの双方のニーズを理解するため、日本の大都市および中核都市の約 2,000 人に個別インタビューを実施しました。この調査によって抽出されたホテルに対するより深いニーズは、日本市場に合わせて、ANA クラウンプラザホテルのサービスに反映されています。ホテルでの滞在だけでなく、これから日本市場で成長が見込まれる MICE (Meeting, Incentive, Conference, and Expo) 市場、ウェディングや宴会等を含むイベント全般において展開してまいります。 URL: www.anacrownplaza.com

本件に関するお問い合わせ先：

IHG・ANA・ホテルズグループジャパン

広報 潮 孝子

Tel: 03 3505 9626 Fax: 03 3505 2359

Takako.ushio@ihganahotels.com

【添付資料：調査レポート(旅行先での過ごし方、本音と建前ギャップ調査)】

主な分析結果：

- 10人のうち7人は、必ずしも旅行先で同行者と一緒に過ごさなくてもよいと考えている。旅行先での過ごし方は旅行相手とすべて異なってもよいと答えた人は10人のうち1人
- 男女別に見ると、旅行先での別行動支持派は、世代を問わず男性より女性に多く、特に40代では男性は約半数の人が一緒に過ごしたいと考えているのに対し、女性は75%以上が別々に過ごしてもよいと考えている
- 旅行の行き先は自分が決めたと答えた人が57.9%。30代をみると、男女とも約3割の人が、母・妻・彼女、父・夫・彼氏が決定権を持っており、相手の意見を尊重している。既婚者と未婚者の比較では、自分で決めた割合は、既婚者が50.9%に対し未婚者が65.1%と、未婚者は自分の意見を通す割合がやや多い
- 実際の旅行が自分の希望通りだったかどうかについては、「行き先が希望通りでなかった」が約13%、「旅行先での過ごし方が希望通りでなかった」が約17%、「時期が希望通りでなかった」が約17%。特に40代の女性は自分の希望と一致していないことが多く、旅行先や時期が希望通りでなかったとの回答は20%以上
- 旅行先での過ごし方で人気があるのは、家族旅行の場合、夏祭りや花火大会、テーマパークや遊園地、海や山でアクティビティが10%以上。恋人・夫婦の旅行の場合、夏祭りや花火大会、ショッピングが10%以上。友人との場合、海や山でのアクティビティ、ショッピングが9%以上
- 一人旅をしている人、または旅行をしていない人は全体の2割弱

調査実施概要：

1. 調査対象、調査方法：Yahoo!リサーチ登録モニター、非公開型インターネット調査
2. 調査期間：平成20年7月4日(金)～平成20年7月8日(火)
3. 有効回答者数と回答者の属性：1,221名、ビジネスパーソン
【年齢】20-29歳31.8%、30-39歳31.7%、40-49歳36.5%、【性別】男性47.9%、女性52.1%

調査結果データ:

【旅行先で旅行相手と別行動で異なる楽しみ方(過ごし方)をしてもよいか】



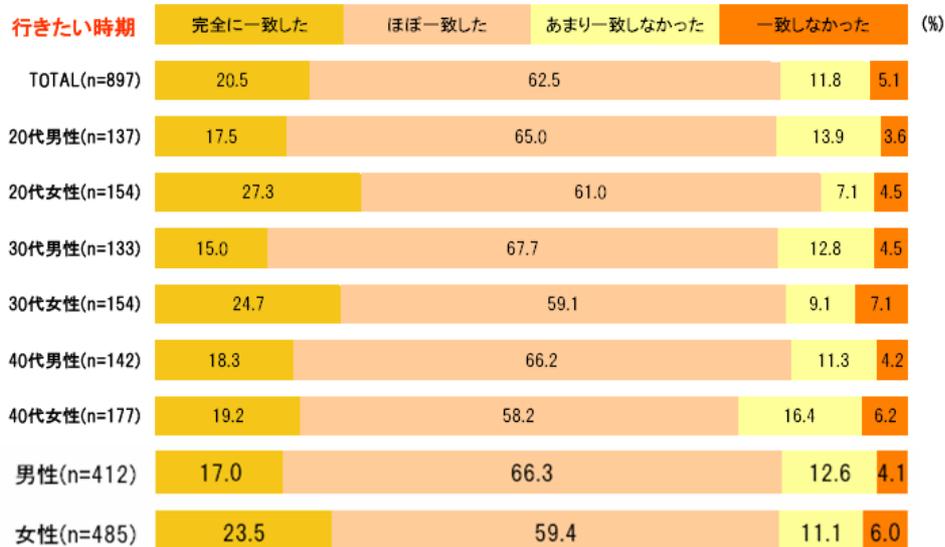
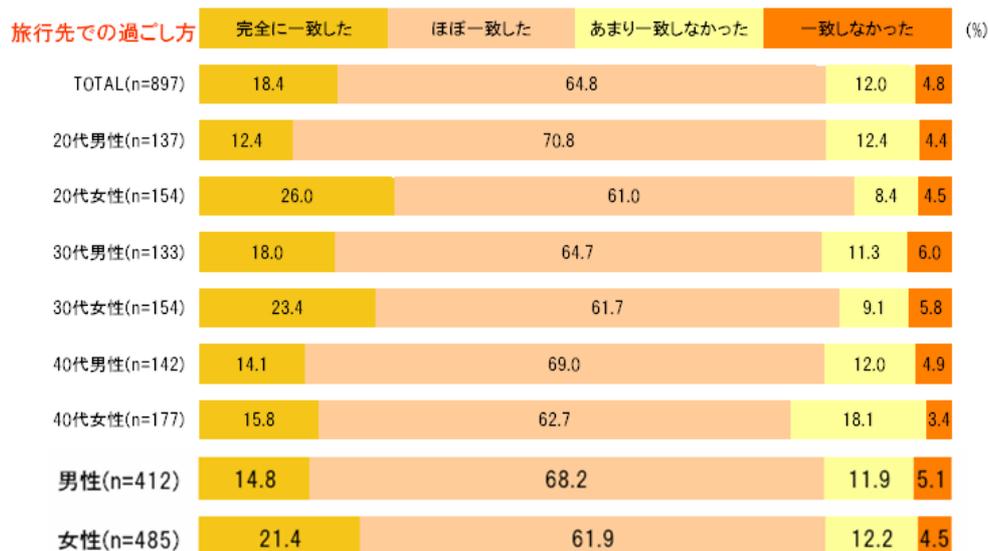
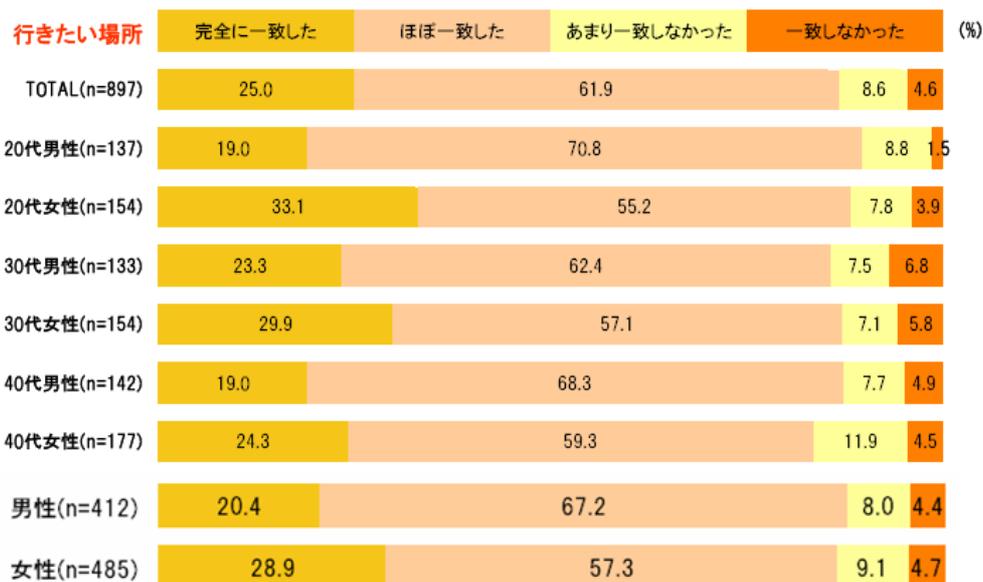
【最近の夏旅行で、行き先を決めた人】



【最近の夏旅行で、行き先を決めた人(既婚 対 未婚)】

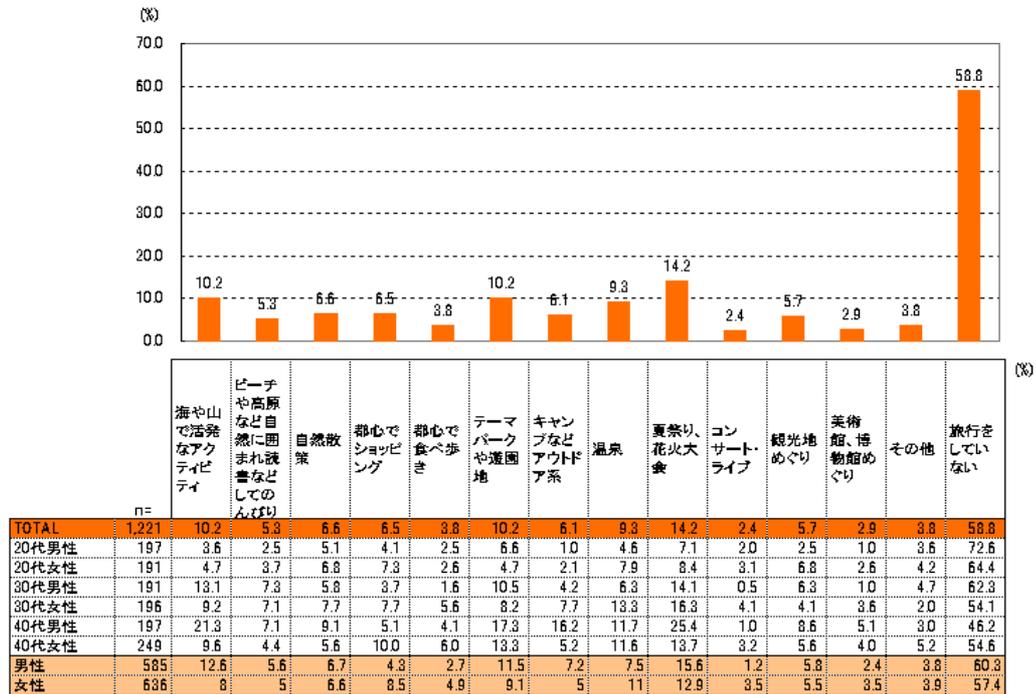


【最近の夏の旅行で、あなたの希望する夏休みの過ごし方と実際の過ごし方の違い】

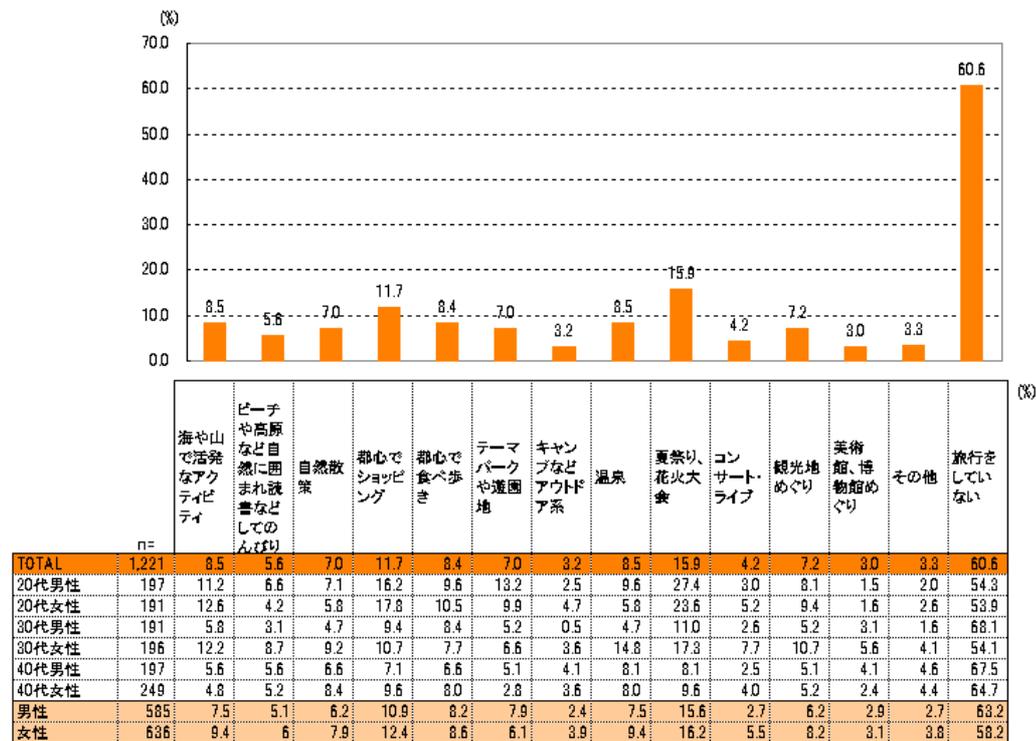


【最近の夏の旅行でしたこと】

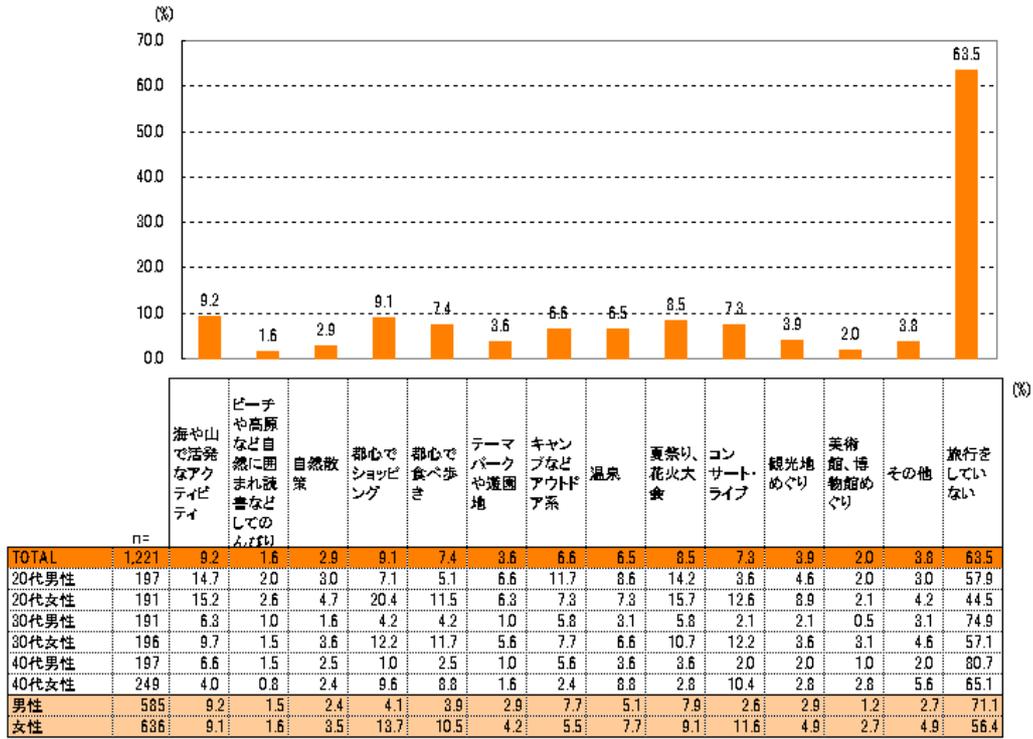
旅行相手: 家族



旅行相手: 恋人・夫婦



旅行相手:友人



旅行相手:なし(一人旅)

